

の大切な施設となる、海部病院の建設に伴う造成工事を行うにあたり、現在、考えているルートでは、ルート周辺の住宅にかなり厳しい状況になるのではないかと考えられます。そこで、残土を乗せたトラックは内妻經由し、空のトラックが住宅街を走るといふふうに変更改出来ないのでしょうか。一方通行になり交通も緩和され交通量も半減されるのではないのでしょうか。何よりも近隣の住宅の傷みや損傷がかなり軽減されるのではないかと思えます。子どもたちを事故から守るためにも通行の削減は大切なことではないでしょうか。

そして、布団や洗濯物干し場が困るなどの軽減にもなります。また、近隣住宅に万が一、工事による被害があった場合、どこが負担するのか、想定内として考えておかなければならない問題だと思えます。

**福井町長**

病院用地造成工事等の残土の運搬についてですが、

近隣地域及びトラックの運行経路にあたる住民の方々には、本当にご迷惑をおかけすることを危惧してまいりました。いろいろ要望をいただいたものの、現時点では、設計どおりのルートで必要に応じ散水をし、徐行運転をしながら運搬するというところで、ご理解いただいているところでございます。

残土処理にかかるルート変更の必要性や振動、騒音に伴う家屋の破損等の問題が生じた場合は、国、県、町の3者が協議し対処していくこととしていますが、関係住民の皆様への悪影響を最小限に抑えるよう請負業者を含め検討、協議しながら工事を進めてまいりたいと考えております。

来たるべき南海地震、南海トラフ地震時に必要な災害拠点病院の早期完成に向け、皆様方のご理解、ご協力を切に願います。

**寒葉建設課長**

残土の運搬経路は県道か

ら町道瀬戸川南線、大山一号線を通る経路で、運搬中のダンプによる近隣の住宅への影響を少なくするため、騒音、ほこりなどの対策とともに、通行の安全性や生活道路確保のため、交通誘導員を配置する等の対策を実施してまいります。

ルート変更につきまして、現在の運搬経路で対応できないとなれば、国、県、町の3者で協議し対応策を検討してまいりたいと考えております。運搬経路周辺の住宅への補償につきましては、施工前に家屋事前調査を実施しており、工事による原因である場合は、補償対象となると考えております。

周辺の町民の皆様方には大変なご迷惑をおかけすることとなりますが、牟岐町にとっては非常に重要な事業でありますので、ご協力をお願いいたします。

**旧西部保育所の貸借について**

**櫻谷議員**

西部保育所は雨漏りもあり、東部保育所よりも古い建物で、近隣には住宅も隣接しています。南海トラフ地震で倒壊した場合、近隣の住宅に被害を及ぼすことはないのか、また、雨漏りのある耐震化の不十分な建物を貸した場合、南海トラフ巨大地震が起きた場合の財産補償の責任はどう考えているのか。

**福井町長**

旧西部保育所は昭和51年の建築で、既に建築後38年が経過しており老朽化が進んでおります。雨漏り等の修繕を繰り返しながら使用

してまいりましたが、来年の3月に開催が予定されており、出羽島アートの活用したい旨、伺っております。将来的には、新中村川ポンプ場を同保育所の敷地内に建設する計画もあり、解体、再利用、民間への賃貸なども含めて、今後検討していく必要がございます。

賃貸に伴う改修の必要性の有無については、その用途により、大きく判断が変わってくると思っております。使用できるかどうか、あるいは賃貸できるかどうかについては、その具体的な利用方法が決まった段階で検討したいと考えております。

**学校教育と授業への見解は**

一山 稔 議員

文部科学省は、来年度から学力テストの成績の公表を解禁し、次回のテストからは、市町村教育委員会が開示方法を判断し、学校や

地域の実情に合った慎重な対応を決めたいといっており、理由については、地方から説明責任の要望があり、学力改善につなげるなら公